

整理No.2018-76		労働災害状況調査表			
災害発生日時		2018年 9月 20日(木) 9時 30分 天候(曇り) 温度(- °C)湿度(- %)			
災害区分		不 ^レ 休災害 休業災害(休業:-日)			
被災者	部門	製造		雇用形態(正社員)、派遣、契約、その他(構内委託)	
	年齢	47歳	性別:(男) 女	勤続年数 3年 4か月	経験年数 3年 4か月
	傷病名	挫創(幅8mm深さ約2mm)			
	傷病部位	右前腕			
災害発生状況	1tホリ金属複合コンテナの仕込み後、上部マンホール(ホリ製)蓋を閉める作業時に右手が滑りコンテナ金属のフレーム部に右前腕部が接触強打し、裂傷した。 (被災者は管理室にて止血を行い、その後係長へ報告。係長はヒヤリングを行い「被災者本人が問題ない」との返答であったため、係長は大丈夫だと判断。その後、被災者は止血ガーゼ交換のため、健康管理室に訪問。保健師より職場長と安衛Gへ連絡し近郊の病院で治療実施)		状況概略(写真orイラスト)		
			 <p>※閉める際に手が滑り、フレーム部と右前腕部が強打し裂傷</p>		
					
災害の型 ^{※1)}		6. 切れ、こすれ		作業の形態:(定常)、非定常、その他()	
起因物:		コンテナ金属フレーム部		特記事項	
原因分類	1.人的要因(man)				
	踏台の足場も凹凸が有りそのためフタ開閉作業は不安定な作業姿勢であった。				
	2.物に関する要因(machine)				
	本来は小キャップ(小口)を開けるべきところ、塗料固着していたためマンホール側(大口)を開放した。				
3.環境要因(media)					
-					
4.管理的要因(management)					
被災者と報告を受けた係長の災害発生時の初期「報・連・相」行動に不備があった。					
対策	①キャスターの無い専用の安定した踏台に変更。				
	②エアー抜き小キャップ(小口)を開ける専用治具を作成し、作業方法を改定。				
	③「災害、事故発生時の連絡ルート」の教育実施。				
	④小さな怪我でも「報・連・相」を実施するとともに被災者の怪我の状態を確認するよう徹底。				
対策分類 ^{※2)} :1-3リスクアセスメント、1-4安全設計、1-6教育					

※1) ①から選択

※2) ②から選択(複数可)